

氏名	永 田 博
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3296 号
学位授与の日付	平成 11 年 3 月 25 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Nursing Practitioners' perception of Inpatients' Anxiety, Self-Esteem, Purpose-in-Life, and Health Locus of control (看護者及び看護学生による入院患者の不安, 人生の目的及び健康統制所在の認知)
論文審査委員	教授 吉良 尚平 教授 黒田 重利 教授 阿部 康二

学位論文内容の要旨

本研究では入院患者が感じている不安、自尊感情、人生の目的、健康統制所在を看護者（看護学生を含む）がどのように認知しているかを検討した。看護者群、看護学生3年生群、看護学生1年生群、統制群（非看護系大学生）に入院患者がこれら4心理状態をどのように感じているかを推定させ、この推定値を入院患者が感じている実際値と比較した。その結果、これら4群は全体として入院患者の不安を過大評価し、自尊感情と人生の目的を過小評価していた。また、入院患者は自分の健康を医療者を含む強力な他者、運や偶然の統制下にあると見なすより自分の内的統制下にあると見なす傾向が強かった。さらに、この内的統制感は看護者が認知する入院患者の内的統制感よりも高かった。これらの結果は、看護者の認知と異なり、入院患者が自分自身やその人生に対してより積極的な態度を持っていること、この意味で、看護者が認知している状況よりは良好なメンタルヘルス状態にあることを示している。

論文審査結果の要旨

本研究は、入院患者の感じている不安、自尊感情、人生の目的、健康統制所在の4心理状態を、援助者がどのように認知しているかを検討したものである。看護婦と看護学生を援助者群とし非看護学生を対照群として、入院患者の回答から推定された4心理状態とを比較している。援助者群と対照群は入院患者の不安を過大評価し、自尊感情と人生の目的を過小評価しがちであることと、入院患者は自分の健康を強力な他者の統制下にあると援助者が認知する傾向は、看護経験の深まりとともに減少すること、を報告した。すなわち援助者は、入院患者のネガティブな心理に限らずポジティブな心理的側面にも着目して、患者の全体像を把握する事が必要であることを指摘している。この研究は、効果的かつ感受性豊かな入院患者ケアを計画して実行する上で、援助者が考慮すべき重要な点を示唆したものである。よって本研究者は、博士（医学）の学位を得る資格があると認める。